

## 【資料紹介】 錦糸公園の誕生と館蔵の関係資料について

田 中 実 穂\*

### 目 次

はじめに

1 錦糸公園の設置計画について

2 錦糸公園に関する館蔵資料

おわりに

キーワード 錦糸公園 公園 陸軍糧秣廠倉庫跡 本所区太平町 本所区柳島町

### はじめに

JR・東京メトロ錦糸町駅のすぐ北側にある錦糸公園（現墨田区）は1928年（昭和3）7月18日に開園した。関東大震災後の復興事業として隅田公園（現墨田区・台東区）と浜町公園（現中央区）と共に計画、設置された三大公園の一つであり、面積は56,124㎡である。現在は墨田区総合体育館や野球場、テニスコートを揃えた墨田区におけるスポーツ活動の拠点であり、また充実した遊具と駅に近い立地のため、区内外から大勢の人々が訪れる公園となっている。

当館には錦糸公園の造成時から開園後に作成された資料が186点収蔵されている。錦糸公園は開園後に園内施設の増設や改修、また戦災による被害などにより、現在の園内に開園当時の姿は殆ど残されていない。本稿では主に公園の設置計画を巡る動きと館蔵資料から、開園時における錦糸公園を概説する。

### 1 錦糸公園の設置計画について

1923年（大正12）9月1日に発生した関東大震災の被害は、避難場所にもなり得る公園の重要性を改めて認識させた。

東京における公園の成立は、1873年（明治6）の上野公園など5か所に始まり<sup>1)</sup>、1888年（明治21）の東京市区改正計画により少しずつその数を増やしていった。しかし、隅田川以東には設置計画も含めて殆ど見られず、工場の進出や総武本線などの開通による人口の集中に対して、公園の不足が懸念されていた。1899年（明治32）8月4日の東京朝日新聞には「本所區と公園地」として当時の現状が報じら

\*東京都江戸東京博物館学芸員

れている<sup>2)</sup>。

(前略) 其後各區に公園の制定あり同區ハ<sup>そとで</sup>外手町公園と緑町公園の二箇所を公園となしたるが外手町の方にハ中島鐵工場あり容易に移轉せしむること能はず又た緑町公園にハ一株の樹木だになく家屋軒を比たれば區民が散歩して鮮新の空氣を吸収すること能はずされども其家屋を悉く立退かしめんと乎これも容易の事にあらず然りとて又両国回向院の周圍を取拂ひ江東學校を移轉せしめて一大公園を為さん乎同學校ハ他へ移すの議論もありし上なれば同所を公園に宛つるハ容易なるも二箇所に墓所あれば公園として欲る所あり同區民ハ是暑熱の苦しきに就けても更に猶完全なる公園なきを歎じあるとなり<sup>3)</sup>

震災における両区の被害は甚大であり、特に公園の造成が予定されていた本所区横網町の陸軍被服廠跡地には避難の人々が集中し、火災旋風により約4万人が亡くなった。一方で、主に隅田川以西の地域では、【表1】の通り既設の広場や公園が避難場所として機能した。

1923年9月に設置された帝都復興院における11月21日の評議会では、新設する公園の位置を「公園及市場ハ出来得ル限り之ヲ増設スルコト公園ノ候補地トシテハ例ヘバ砲兵工廠及糧秣廠跡、隅田川兩岸ノ如キヲ考慮スルコト」としている<sup>4)</sup>。

砲兵工廠はかつての水戸徳川家上屋敷内に建設された東京砲兵工廠で、敷地内に小石川後樂園があった。銃や弾丸、火薬などの生産を担ったが、震災の被害により小倉（現福岡県小倉市）への移転が計画されていた。また、陸軍糧秣廠は深川区越中島町（現江東区越中島）に置かれ、戦時の用に供する糧秣の調弁・製造・貯蔵・補給、及び糧秣の試験を行っていた<sup>5)</sup>。その馬秣倉庫が本所区太平町（現墨田区太平・錦糸・横川）にあったが、1909年（明治42）1月26日に全焼、さらに震災後には罹災者のバラックが建てられていた。

1924年（大正13）2月に帝都復興院は廃止、内務省の外局として復興局が新設された。同年3月14日の特別都市計画委員会第三回総会において、直木倫太郎（1876～1943）は公園新設の目的を「市民生活の休養慰安」とし、震災においてその役割を一層痛感したとしている。その上で、新しく設置する公園の場所のうち、「本所深川ノ工業地域ニ居住スル市民ノ休養慰安ノ為ニ設ケル公園」については、次のように述べている<sup>6)</sup>。

【表1】関東大震災における主な避難場所

所在地	場所
千代田区	牛ヶ淵公園・富士見町公園・土手公園（外濠公園）
	清水谷公園（清水谷公園）・麴町公園（日枝神社）
	千鳥ヶ淵公園・半蔵門外広場・日比谷公園（日比谷公園）
	東京駅広場（東京駅丸の内駅前広場）・宮城外苑（皇居外苑）
中央区	浜離宮（浜離宮恩賜庭園）
港区	虎ノ門公園・芝公園（芝公園）
文京区	植物園（小石川植物園）・江戸川公園（江戸川公園）
台東区	上野公園（上野恩賜公園）・浅草公園（旧浅草公園・浅草寺）
江東区	清澄公園（清澄庭園・清澄庭園児童遊園）

所在地は現在の区分による。また現存する場所は（ ）内に名称を記した。  
 (『帝都復興事業誌建築篇・公園篇』(復興事務局,1931)より作成)

最初、議会ニ提出スル場合ニ、本所深川ニ一箇所造ル考デアリマシタガ、其ノ後ニ至リマシテ近ク宮内省カラ東京市ニ対シテ、猿江町ノ御料地ノ一部分ヲ御下賜ニ相成リマシテ、ソレモ記念公園トナリマシタ、又深川ノ岩崎邸モ東京市ニ寄附セラル、コトノ話ガ進行シテ居リマス、ソレデ深川ニハ寧口公園ノ数ガ相当多クナリマスノデ、本所区ニ於テ小住宅ノ多ク集ツテ居ル太平町を選ビマシテ、錦糸公園ヲ設ケルコトニ致シマシタ

当初は「江東公園」と称した公園の場所として、本所区と深川区の間に当たる猿江御料地の西側4万坪が予定されており、非常時には御料地の6万坪と合わせて広大な避難場所とする計画が立てられた。しかし、1924年（大正13）1月に「猿江町ノ御料地ノ一部分」が東京市に下賜され、次いで5月には「深川ノ岩崎邸」が東京市に寄付、いずれも公園と庭園として公開を前提とした修理が施されることになった。この2カ所は現在の猿江恩賜公園と清澄庭園である。

また、「本所区横網町安田邸跡」と「旧陸軍被服廠跡」も東京市に寄付、及び買収された。現在、前者には旧安田庭園や日本刀剣博物館、安田学園、同愛記念病院があり、後者は横網町公園となっている<sup>7)</sup>。

上記の4か所はいずれも東京市による事業である。一方、帝都復興院～復興局の計画による公園は、猿江御料地に隣接した場所からの見直しとなり、本所区太平町の陸軍糧秣廠倉庫跡とその付近を合わせた約1万8千坪を設定、名称を「錦糸公園」と改めた。公園設置の方向性として、工場と人口の過密地帯に居住する市民のために「出来ル丈ケ運動場、遊戯場等ノ方面ニ使ハレルヤウニ設計シタイト思フノデアリマス」としている。

同年4月1日に、内務省告示第179号により東京都市計画に基づく公園の設置場所が通達された<sup>8)</sup>。  
下線は執筆者による

官報第3479号（大正13年4月1日）

告示 ◎内務省告示第百七十號

東京都市計画並都市計画事業及其ノ執行年割ノ件左記ノ通大正十三年三月三十一日内閣ノ認可ヲ得タリ

大正十三年四月一日

内務大臣 水野錬太郎

第一 東京都市計画公園新設ノ件左ノ通り定ム

番號	名称	位置	面積（約）
一	濱町公園	日本橋区濱町一丁目及濱町二丁目ノ内	一萬一千坪
二	隅田公園	本所区新小梅町、向島小梅町及向島須崎町ノ内 並浅草区花川戸町、山ノ宿町、金龍山瓦町及今戸町ノ内	三萬二千坪
三	錦糸公園	本所区大平町ノ内	一萬八千坪

第二 前項ノ計画ハ都市計画事業トシテ大正十二年度ヨリ大正十七年度迄六箇年度ニ繼續執行スルモノトシ其ノ年割左ノ通り定ム

大正十二年度 約二分四厘

大正十三年度	約三割二分四厘
大正十四年度	約三割一分五厘
大正十五年度	約一割二厘
大正十六年度	約一割六分六厘
大正十七年度	約一割一分九厘

1931年（昭和6）に刊行された『帝都復興事業誌 建築篇・公園篇』（復興事務局）によると、復興局、つまり国により施工された東京と横浜の公園計6か所のうち、計画の変更が殆ど生じなかったのは、浜町公園・山下公園・神奈川公園の3か所としている<sup>9)</sup>。つまり、残りの公園は途中の計画変更を余儀なくされており、錦糸公園の場合は設置場所の変更が該当する。

先に錦糸公園の設置場所が本所区太平町の陸軍糧秣廠倉庫跡とその付近、約1万8千坪に決定したと述べたが、その内訳は、1924年（大正13）3月25日の特別都市計画委員会第四回総会における磯部尚（1875～1935）の発言によると次の通りとなっている<sup>10)</sup>。

（前略）ソレハ錦糸公園ハ御承知ノ如ク一萬八千坪デアリマス、其中八千坪ダケハ糧秣廠本所倉庫ノ跡デアリマシテ、一萬坪ダケハ全ク人家ノ密集致シテ居ル所ナノデアリマス、然ルニ此糧秣廠ハ全部デハ四萬餘坪デアリマシテ、今度公園ニ編入サレマス一部分間近ニ三萬坪バカリノ地面ガアルノデアリマス、従来陸軍糧秣廠ハ陸軍カラシテ不用ノ土地トシテ殆ド荒廢ヲ極メテ居ル、狐ヤ狸ガ棲ンデ居ルヤウナ草蓬々タル所ナノデアリマス

約1万8千坪のうち陸軍糧秣廠本所倉庫跡地は8千坪、残りの1万坪は人家が密集する場所であるため、公園の造成による立ち退きの可能性を懸念している。一方、近くの本所区柳島町（現墨田区横川・業平）にも約3万坪の倉庫跡地があることから、その場所を公園の予定地とすれば良いとしている。

しかし、その場所は大蔵省が「多分煙草専売局ヲ彼処」として想定しているため、交渉は困難であるという見解も示された<sup>11)</sup>。このあらましを図示したのが【図1】である。

なお、同年5月9日の東京朝日新聞東京版には「付近の町民が錦糸町公園に反対 煙草工場計画をやめて 倉庫跡に設けよ」という見出しで、二度にわたり東京市と復興局に陳情した様子が報じられている<sup>12)</sup>。



【図1】 錦糸公園の予定地①  
 (国土地理院HP 地理院地図より作成)

國で建設する本所糧秣廠跡の錦糸町公園に對し附近の住民は反對しその位置變更に關し六日も八日も市と復興局に陳情した反對の理由は太平町の糧秣廠跡（八千坪）を中心として一萬八千餘坪の公園を建設するには附近商家の住宅を割かねばならぬがこれは甚だ困るから又糧秣廠の倉庫跡に大蔵省で專賣局の煙草工場を設置する案に對しても同様反對の陳情を為しているがそれは營業上並に風紀上面白からぬといふにあり

そして錦糸町・本所茅場町・松代町・太平町及び柳原一帶各町の会長と副会長の連署で陳情を行い、公園と煙草工場の変更代替案として、錦糸公園を煙草工場の設置が予定されている本所柳島町の糧秣廠倉庫跡地に設け、かつ周辺の道路に通じるように、公園の北側と南側へ門の新設を求めたとある。

なお、設置場所への反対はあったが、公園そのものの存在は認められていたようである。前出の記事から約1か月後には、「労働者の公園 煤煙をのがれ出て 憩ふ錦糸公園の設計」として、公園の設置目的は江東地域の工場労働者の体育運動と、婦女子や小学生の運動休養にあるとしている。園内にはボートを操れる池や寝転んだり野球ができる芝生やトラック、食堂などの造成が予定され、「煤煙の都に一つのオアシス」としての期待が伺える<sup>13)</sup>。

1925年（大正14）になると設置場所の計画に変化が見られた。同年5月30日の特別都市計画委員会第四回常務委員会では、公園の設置にあたって「民有地ヲ一万餘買ツテ移転サセルコトハ容易デアリマセヌノデ」との意見に基づき大蔵省と交渉をした結果、大蔵省が煙草工場建設地の候補を糧秣廠倉庫跡から本所区押上町（現墨田区業平・押上）にあった富士紡績工場の跡地としたことが報告された<sup>14)</sup>。富士紡績本所工場は富士瓦斯紡績株式会社における主要な綿糸工場であったが、関東大震災にて被災、工場は再建されることなく、1924年（大正13）9月に跡地が復興局に売却されていた<sup>15)</sup>。

翌1926年（大正15）2月23日の東京朝日新聞では「場所を變更した錦糸堀公園 洲崎から押上へ抜ける新大道路の東側へ」との見出しを掲げ、錦糸堀公園（錦糸公園）の設置の場所を新大道路の東側、つまり現在の都道465号線、通称四ツ目通りの東側へ移したとしている。そして場所の確定による復興局公園課の意気込みとして、工場労働者の保健を第一の目的とし、テニスコートや水泳プールをはじめとした体育設備と、講演や音楽などの集会を行う会館を設けて女性や子供も不安なく休むことが可能な「江東唯一の安息所」の建設を目指すとする<sup>16)</sup>。

同年2月24日、特別都市計画委員会の議題として、公園の位置変更が賛成を以て認められた。その席上で復興局長官の清野長太郎（1869～1926）により、変更の経緯が説明された<sup>17)</sup>。

本案ニ付テ一言説明ヲ申上ゲマス、此案ハ錦糸公園ノ位置ヲ是迄定ツテ居リマス位置ヨリ少シク東ニ当リマシテ、隣接シテ居リマス元ノ陸軍糧秣廠ノ用地ニ変更致シマシテ、其結果面積ガ千坪丈ケ減リマスコトニナツタノデアリマス、錦糸公園ハ当初本案ノ位置ヲ最モ適当ナ位置ト認メマシテ、其計画ヲ実ハ進メテ居リマシタ所ガ、当時偶々大蔵省ニ於テハ糧秣廠用地ヲ專賣局ニ充当スル御考ガアリマシタ為ニ、已ムヲ得ズ現在迄公園予定地ノ太平町二丁目ニ決定シタ次第デアリマシタガ、幸ニ今回大蔵省ハ專賣局ノ用地トシテハ復興局デ買収シマシタ本所中ノ郷業平町ノ富士紡績株式会

社工場敷地ノ跡ヲ之ニ充テ、宜シイト云フ相談ガ整ヒマシタノデ、即チ本案ノ如ク茲ニ変更ノ案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

そして3月6日の内務省告示第23号により変更後の場所が通達された<sup>18)</sup>。なお、計画の変更により、面積は当初予定の約1万8千坪から1千坪減の約1万7千坪となった。

官報第4057号 (大正15年3月6日)

◎内務省告示第二十三號

大正十三年四月内務省告示第七十號東京都市計画並都市計画事業及其ノ執行年割中第三號錦糸公園ヲ左ノ通改ムルノ件大正十五年三月二日内閣ノ認可ヲ得タリ

大正十五年三月六日

内務大臣 若槻禮次郎

番號	名 称	位 置	面積 (約)
三	錦糸公園	本所区柳島町之内	一萬七千坪

なお、変更場所については【図2】に図示した。

『帝都復興史 第参卷』（復興調査協会、1930年）によると、錦糸公園の建設は1925年（大正14）9月に着手し始めたとあり、復興局が本所区押上町の富士紡績本所工場の跡地を購入した時期と一致する。その後工事を進めて、1928年（昭和3）6月に竣工、同年7月18日に開園式が挙行された。「昭和三年七月十八日 錦糸公園開園式報告書」（資料番号90006473）によると、当日は内務大臣や復興局長官の参列をはじめ、本所区柳島町会や太平町二丁目町会など20の町会が参加して華々しく行われた。開園式当日の詳細については次項に掲載する。こうして錦糸公園は震災後における本所区・深川区の住民の運動と休養、及び災害発生時における避難場所として開園した。



【図2】 錦糸公園の予定地②  
(国土地理院HP 地理院地図より作成)

## 2 錦糸公園に関する館蔵資料

前項1では錦糸公園の設置計画から開園までを概観したが、その過程で作成された公園全体の図面や園内施設の設計図、工事の指示書、及び開園式の報告書や案内パンフレットなど186点が当館に収蔵されている。本項2では主に『帝都復興事業誌 建築篇・公園篇』（復興事務局、1931年）を利用して分類

した収蔵資料一覧を掲載する【表2】（巻末に掲載）。また、それぞれの簡単な解説を下記にまとめた。

なお、収蔵資料に見られる「星野」は、復興局公園課で技師を務めた星野奇<sup>くすく</sup>であり、「昭和三年七月十八日 錦糸公園開園式報告書」（資料番号90006473）にも「公園竣成ニ至ル迄ノ技術諸員氏名」として主任技師太田健吉・同技師横山信二・技師原松胤と共にその名が見える。北海道帝国大学農学部農学科を卒業したのち<sup>19)</sup>、1925年（大正14）7月1日の職員録に内務省復興局建築部の技手として記載され<sup>20)</sup>、翌1926年（大正15）4月1日の職員録には本所区元町（現墨田区両国）の復興局東京第四出張所工事課の技手とある<sup>21)</sup>。錦糸公園が開園した1928年（昭和3）12月には高等官七等に任じられた<sup>22)</sup>。また、錦糸公園の他に、横浜の横浜公園や山下公園にも関わっている<sup>23)</sup>。

さて、【表2】の分類項目の名称、及び内容は次の通りとなる。園内の主な施設の場所は86頁【図3】「錦糸公園平面図」を参照されたい。

### 1. 盛土

錦糸公園の設置予定地は海拔が低く低湿地であるため、造成の最初かつ重要な作業として盛土を行った。盛土や基礎工事に関する資料は計3点である。盛土に必要な土は、復興局第一出張所（京橋区・芝区・赤坂区・麴町区の一部を担当）の土を、1925年（大正14）9月25日から1927年（昭和2）6月14日まで約2年9か月かけて搬入した。搬入は横十間川から本所区柳島町までは船、陸揚げ後は公園まで敷設したレールを使用した。

### 2. 地均

資料1～5にある「錦糸公園工作物基礎取除」は、陸軍糧秣廠倉庫の跡地に残る建物の基礎や石積みを取り除く作業である。煉瓦は細かく碎き、玉石や砂利は公園の基礎材料として使用した。また、園内の通路や広場、コロネードを除いた面積1万2千坪については土を均して地模様を造成した。

### 3. 排水

排水に関する資料11点のうち、人孔（マンホール）の詳細図は資料3～6・8の5点、雨水樋の詳細図は資料7の1点である。園内の排水は全て暗渠とし、人孔は8か所、雨水樋は114か所設けられ、陶管を通して東京市の下水道に排水された。

### 4. 給水

園内における給水先の一つにプールがあった。当初の計画ではプールの設置も予定されていたが、予算の都合により中止となり、開園から5年後の1933年（昭和8）に造られた。プール関係の資料は資料6～11、プールの造成を見込んで穿鑿した井戸については資料1～5が該当する。

### 5. 水道

関係資料9点の内訳は、「手洗（中型・小型）」と「水飲台」となる。園内には、相州堅石と新小松石を使用した高さ約70cmの水飲台が5か所設けられた。

### 6. 門・外柵・園路

計8か所の門のうち、正門は「補助線第5号線」に面した園の西側に造られた。補助線第5号線は現在の都道465号線、通称四ツ目通りである。資料9～11に「錦糸公園門（A号）」とあるのが正門であり、水飲台と同じく相州堅石と新小松石が用いられ、渋沢栄一の筆になる園銘板を、資料10にある照明装置

が照らしていた。また、外柵は間柱を2本の鉄管により連結し、総延長は約485間（約881m）となった。資料1～5は外柵工事に関わる金額の内訳や仕様書である。

園路は盛土の後にローラーにより転圧した上に相模川産の砂利を敷き、更に転圧を加えて仕上げた。造成に際しての資料が16～21である。園路は「7間（約13m）」「6間（約11m）」「四間（約7m）」「二間（約3.6m）」の4種類が造られた。

## 7. 植栽

園内の樹木についての資料は3点見られる。植栽の内容はシイ・シラカシ・マテバシイ・ポプラ・タマクス・プラタナスなど26種の上木2千本と、アオキ・ヤツデ・サンゴジュ・ツツジなど40種の下木1万9千本であった<sup>24)</sup>。上原敬二（1889～1981）の著書『実験造園樹木』によると、耐火性のあるシイや「火防の木」とされたサンゴジュは外周に植えて防火を担わせ、プラタナスは「工場造園、煤煙地の庭園に適す。」としている<sup>25)</sup>。本所区の工業地域に新設された錦糸公園は、火災発生時により有効な避難地となるように、植栽に際しては、強靱かつ火に強い性質の樹種が選択されたと思われる。

なお、錦糸園内における植栽の面積は約1万1500坪であり、そのうち芝生は約5600坪と3分の1を占める。芝生の中には一周200mのトラックを設けて小学校の運動会などに使用できるようにした<sup>26)</sup>。公園における芝生の役割について、中島卯三郎（1888～1971）は著書『造園の保護と管理』の中で、「公園に於ける芝生は植物の植込及び花壇等と相待つて、公園の主要な景色を作るものであり、芝生は公園に遊ぶ民衆に明るい開放された所の温い感じを與へ、あの麗はしい緑の色彩は常に吾々に特別な親しみと慰みとを感ぜしめるのである。」としている<sup>27)</sup>。なお、芝生については1928年（昭和3年）6月17日の東京朝日新聞に、青山神宮外苑の芝生1500坪分を刈り取りの上、錦糸公園に移植予定という記事が見られる<sup>28)</sup>。

## 8. 花壇

公園に花壇を設ける目的として『帝都復興事業誌 建築篇・公園篇』には「本公園は江東の工場地帯であつて、住民は緑園に飢えつゝあるから本公園に緑園を作ると共に、尚其の一部に花壇を添へて一段の景趣をなさしめた。」とある。公園西側の正門と東側の裏門から内部に通じる園路には幅2間、長さ約12間（約3.6m×約21.6m）の花壇が一つずつ、及びコロネードの裏側に4つ設置された。資料2「錦糸公園造営敷地ノ一部花壇築造準備工事竣工調書」には花壇の内訳として、チューリップ（一重早咲・ダーウィン）・ヒヤシンス・アネモネ・スイセンが記されている。なお、これらの花について石井勇義『花壇庭園の知識』では「春花壇の主なる球根草花」として次のように紹介している<sup>29)</sup>。なお、丸数字は執筆者による

- ① チューリップ（アーリー） 3、4月開花／白、紅、黄、赤等／秋植

チューリップ中の早生にて、春の花壇に眞先に咲出づ、丈低く色彩の變化に富む、鉢花及切花も面白し

- ② チューリップ（ダーウィン） 4月下旬～5月開花／各色あり／秋植

チューリップ中最も性質強く繁殖力も盛にて、花壇用として最適なり。花梗長く伸び葉も良く茂

る

③ ヒヤシンス（ホーランダー） 3、4月／白、紅、青各種／秋植

秋植球根中最も普及して居るものにて、春の花園を飾る球根中最優のもの、花色は極めて豊かなり

④ アネモネ（コロナリア） 3、4月／紅八重咲／団子と分球

アネモネのうちには、澤山の種類があるが、そのうち紅八重と一重咲が普通。秋に優良な球根を植込めば造作なく開花す。實生にて繁殖することも可。

⑤ ナーシツサス（房咲・ラツパ／口紅／ジヨンキュル）

※いずれも水仙の種類で開花は3～4月、または4～5月。色は白と黄であり、種類により花の形が異なる。

## 9. コロネード

コロネードは連続した柱の上部を水平の築でつないだ回廊で、錦糸公園においては東南の隅に一段高く設けた台の上に設置している。公園を代表する存在であり、関連の資料も計13点を数える。台の高さは3尺（約90cm）で両側に階段を設けている。柱の高さは16尺（約4.8m）で半円形に配置されていた。

## 10. 噴水

資料1～6はいずれも噴水の関係資料である。噴水はコロネードの前に造られた池の中央に配置され、高さ2尺7寸（約80cm）の角形コンクリートの上に直径3寸（約90cm）の青銅製の水盤を置き、片足を上げた子供の像が据え付けられていた。

## 11. 児童遊技場及運動場

資料2「運動場周囲大谷石積工設計図・砂場周囲大谷石積設計図・角力場設計図」は、児童遊技場の砂場と少年用運動場に設けられた土俵の設計図である。児童遊技場と少年用運動場は正門を挟んで位置し、前者には196坪（約647㎡）に16坪の砂場やシーソー、三方すべり台や6つのブランコがあり、後者には336坪（約1,107㎡）に廻旋すべり台や雲梯、角力場などが設置された。特に砂場は「幼児にとつては少しの危険もなく且つ教育的価値のあるものである。児童が砂の上を走つたり、シャブルで掘つたり、トンネルを作つたり、團子を作つたり、又箱庭を作つたりすることは児童の本能<sup>30)</sup>。」であり、児童向けの公園には不可欠な存在とされていた。

## 12. 藤棚

資料1～4では藤棚と共同便所がメモや仕様書に併記されている。藤棚は2か所設けられ、特に中央の芝生地に面した棚には蔓性のバラが植えられた。

## 13. 共同便所

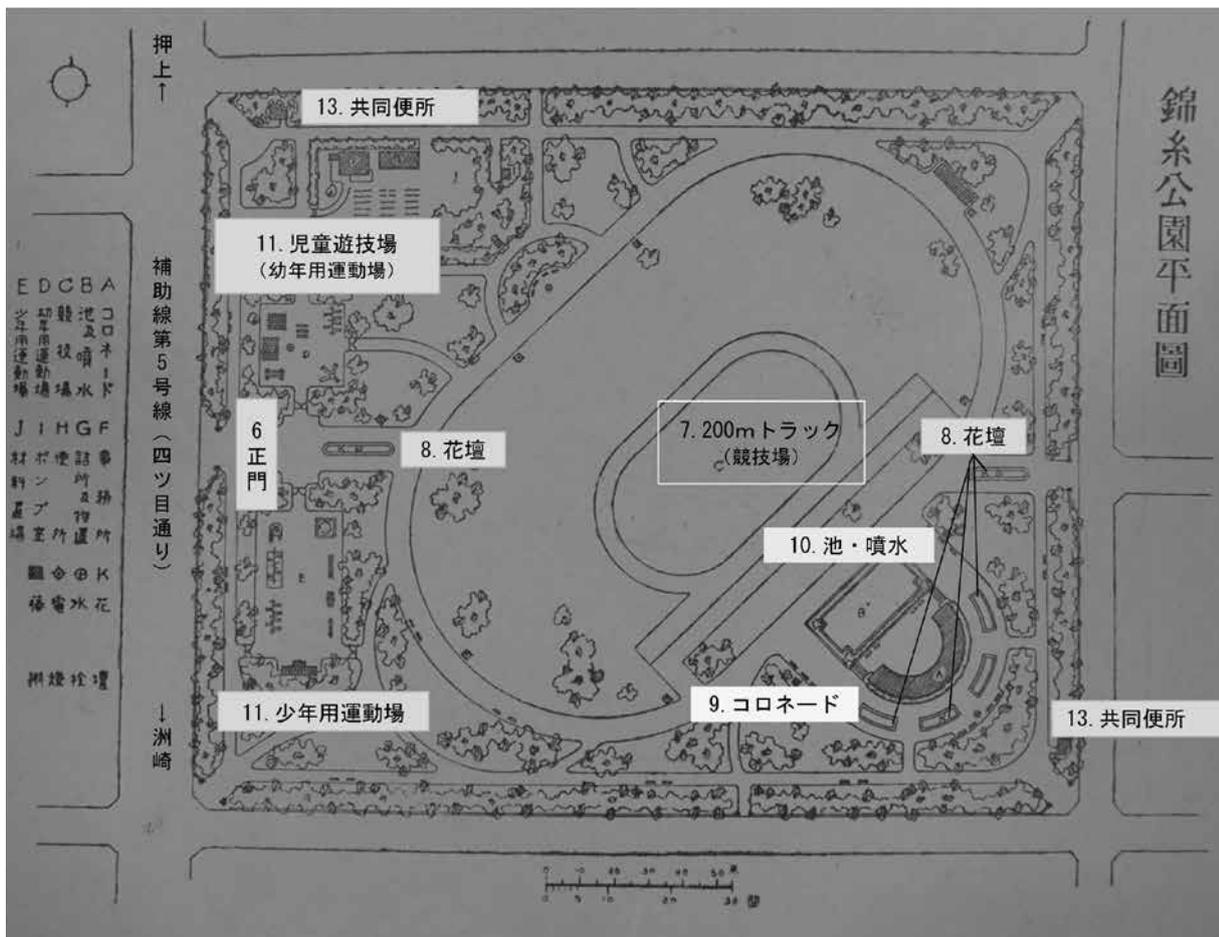
園内の北西と東南に1か所ずつ設けられた。資料4「錦糸公園便所 原図(No. 1)」には和式便器が2つ、及び小便器3つと和式便器1つを設けたスペースが隣接している。なお、設置に際しては便槽を拡大した「改良便所」が導入された。

#### 14. 照明工事

該当資料なし。ただし、「6. 道路・外囲・門」の資料10「錦糸公園門（A号）照明装置詳細図 縮尺二分之一」がこれにあたる。

#### 15. ベンチ工事

鉄製のベンチが大人用41脚、児童用5脚造られた。資料2「錦糸公園児童用ベンチ製作設計図面」には背凭れと腰掛の部分が一体となり緩やかなカーブを描くベンチがデザインされている。



【図3】開園当時の錦糸公園平面図（「錦糸公園案内」資料番号 90006441 より作成）

次に、a～eに分類した資料のうち、aの「図面（開園前）」は、いずれも公園のデザイン案であり、青図の資料1～2「錦糸公園 縮尺六百分ノ一」から、「復興局」と印刷された用箋に鉛筆で描かれた資料9など種類が多い。いずれも園内に複数のスペースが描かれるが、「コロネード」「児童遊技場及運動場」などといった施設名は殆ど記されていない。また、完成後の【図3】と比較すると、園内の各スペースや園路が曲線的に描かれている。

1928年（昭和3）7月18日の開園日には、復興局と地元の17町会の関係者により準備が進められた開園式が華々しく挙行された。開園式や当日の様子は、「e.開園後」の資料3「昭和三年七月十八日 錦糸公園開園式報告書」に詳細に記録されている。

（会場の周囲）

其日園ノ内外ハ紅白ノ幔幕、萬國旗、祝開園等ト染出サレタル彩旗等翻トシテ場ノ内外ヲ飾リ沿道各町ハ両側ニ國旗ヲ掲ゲ幔幕ヲ張り廻ラシ公園正面入口ニハ杉緑葉ヲ以テ包マレタル大アーチ各門ハ又夫々裝飾門ヲ造ヘテ公園ノ祝賀ニ相應シク路上為メニ一層ノ賑ヲ現ジ擴メラレタル街衝モ尚ホ且ツ狹隘ヲ感ゼシメラル、

（会場内）

入口ノ大アーチヲ入レバ左右ニ來賓及會員ノ受付ト記サレタル天幕アリ園内所々ニ休憩所、餘興場、花火打揚場、警察官休憩所、軍樂隊控所、救護所、相撲所等夫々紅白ノ幔幕ヲ張りタル天幕ヲ以テ用意セラレ式場ハ園内東南方ニ最新ノ設計ヲ以テセル「コロネード」内ニ造ラレ祭壇及式場ヲ設ケ來賓席、會員席ヲ別テ園内芝生前ニ約一千人ヲ入ル、宴会場ヲ設備シ諸般ノ施設全ク整ヒタルヤ先ヅ午前六時轟然タル一發ノ號音ハ俟チ設ケタル開園祝賀會ノ挙式アルを報ゼリ（太字は原文ママ）

（式典終了～日没後）

開園式ノ終ルヤ待チ構ヘタル一般區民ハ開放ノ合圖ト共ニ堤ノ決セルガ如ク續々園内ニ入り運動具、ベンチ、芝生式場跡ニ右往左往シテ新シキ緑樹ノ色ヲ賞シ青芝緩カナル「トラック」新形式ノ藤棚等ヲ推シ日ノ没スルモ知ラザルノ有様ナリ、日暮ル、ヤ園内ノ電燈ハ一時ニ点ゼラレ恰モ輝々明星ノ如ク、或ハ明月空ニ懸ルガ如ク、伏シテハ園池ニ映ジ、仰バ樹葉ニ影淡ク折柄打上ゲル煙火ニ空ハ五色ノ靈光ヲ放チ歡聲一時ニ起リテ實ニ「エデン」ノ園モスクヤト思ハシムル許リナリ（太字は原文ママ）

会場の周囲には紅白の幕が張り巡らされ、万国旗や「祝開園」と染め出された旗が賑やかに飾られた。午前六時に開園祝賀会を知らせる音が鳴り響き、園内の芝生には千人もの人数に対応可能な宴会場を設置したとある。式典は園内に一段高く造られたコロネードにて行われた。

式典の終了後には一般区民がなだれ込み、新設された運動具やベンチ、青々とした芝生のトラックや藤棚に興味を尽きぬまま日暮れとなり、一斉に灯された電灯や打ち上げ花火に歓声があがり、あたかもエデン（天国）のようだったとある。なお、当日は降雨のため、本所区内の小学生によるマスゲームなどは翌日以降の開催となった。それでも新設された公園に対する地元の期待と歓迎ぶりを伺うことが出来る。

また、同報告書には開園間もない8月に公園と運動場の入場者、運動器具の使用人数、運動場の入場者の居住地の調査が行われている。特に居住地の範囲を見ると、本所区柳島町・太平町・錦糸町、及び亀戸町など公園に近い地域から、2km以上離れた小松川町（現江東区小松川・平井）や砂町（現江東区北砂・南砂・東砂・新砂）も確認できる。こうして錦糸公園は、かつて懸念されていた本所区と深川区の公園不足を補い、工業地域における運動と休養の場として役割を担っていった。

## おわりに

現在、公園の東北の隅に開園時の門柱が1本残されている。開園からまもなく100年を迎えようとする錦糸公園は、園内施設の変更などはあったものの、面積は変わらずに隅田川以東における大公園として、また錦糸町地区の避難場所としての役割を担い続けている<sup>31)</sup>。

東京東部における交通の中心地、錦糸町駅前の大公園という立地に対する疑問と、186点もの関係館蔵資料が本稿作成のきっかけとなった。錦糸公園は紆余曲折の末に現在の場所に決定しており、工場と人口の過密地帯にあって公園に恵まれず、震災で大きな犠牲を払った地域に住む人々の生活環境改善を目的として造られていた。

本稿では設置の過程における図面や工事指示書の読み込みが不十分であったため、錦糸公園の設置計画から開園に至る全容を明らかにしたとは到底言い難い。今後の課題として一層の取り組みを進めていきたい。

## 【註】

- 1) 我が国における公園制度の始まりは、1873年（明治6）1月15日付太政官第16号によるが、同年5月に発生した皇城の火災により太政官庁舎が類焼したため原文書は失われている（一般社団法人日本公園緑地協会 都市公園制度制定150周年事業ポータルサイト [chrome-extension://efaidnbmninnbpcajpcgclclefindmkaj/https://www.posa.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/01/historical-materials\\_m6Dajokan-No16\\_02.pdf](chrome-extension://efaidnbmninnbpcajpcgclclefindmkaj/https://www.posa.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/01/historical-materials_m6Dajokan-No16_02.pdf)）  
太政官と各省間で授受した文書を編纂した「公文録」には「府県公園地御定ノ儀伺」として収録されている。  
「府県公園地御定ノ儀伺」国立公文書館デジタルアーカイブ  
[https://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/result?DEF\\_XSL=detail&IS\\_KIND=detail&DB\\_ID=G9100001EXTERNAL&GRP\\_ID=G9100001&IS\\_TAG\\_S16=eadid&IS\\_KEY\\_S16=M0000000000000086887&IS\\_LGC\\_S16=AND&IS\\_TAG\\_S1=all&IS\\_KEY\\_S1=%E5%BA%9C%E7%9C%8C%E5%85%AC%E5%9C%92%E5%9C%B0&IS\\_MAP\\_S1=&IS\\_LGC\\_S1=&IS\\_EXTSCH=F2009121017005000405%2BF2005021820554600670%2BF2005021820554900671%2BF2005032421074303276%2BF2005032500522603282%2BF000000000000001883&IS\\_ORG\\_ID=M0000000000000086887&IS\\_STYLE=default&IS\\_SORT\\_FLD=sort.tror%2Csort.refc&IS\\_SORT\\_KND=asc](https://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/result?DEF_XSL=detail&IS_KIND=detail&DB_ID=G9100001EXTERNAL&GRP_ID=G9100001&IS_TAG_S16=eadid&IS_KEY_S16=M0000000000000086887&IS_LGC_S16=AND&IS_TAG_S1=all&IS_KEY_S1=%E5%BA%9C%E7%9C%8C%E5%85%AC%E5%9C%92%E5%9C%B0&IS_MAP_S1=&IS_LGC_S1=&IS_EXTSCH=F2009121017005000405%2BF2005021820554600670%2BF2005021820554900671%2BF2005032421074303276%2BF2005032500522603282%2BF000000000000001883&IS_ORG_ID=M0000000000000086887&IS_STYLE=default&IS_SORT_FLD=sort.tror%2Csort.refc&IS_SORT_KND=asc)  
（最終閲覧日：令和5年11月28日）
- 2) 新聞記事の引用に際して、ルビの表示は固有名詞などを除き省略した（以下同じ）。
- 3) 東京朝日新聞 1899年（明治32）8月4日朝刊  
朝日新聞クロスサーチ <https://xsearch.asahi.com/shimen/pdf/?1699605894827>
- 4) 1923年（大正12）11月21日「帝国復興院評議會速記録（第二回）」帝都復興院, p.17  
国立国会図書館デジタルアーカイブ <https://dl.ndl.go.jp/pid/1916395/1/47>
- 5) 「陸軍糧秣廠」『新撰東京名所図会 深川区の部其の二』1909年, p.1
- 6) 1924年（大正13）3月14日「特別都市計画委員会第三回總會議事速記録」p.35～36  
国立国会図書館「デジタルアーカイブ」<https://dl.ndl.go.jp/pid/1916395/1/47>  
（「特別都市計画委員会議事速記録 第二號」復興局に所収）
- 7) 『帝都復興事業誌 建築篇・公園篇』（復興事務局, 1931年）公園篇p.14, p.21～22
- 8) 「官報 第三四七九號 大正十三年四月一日」  
国立国会図書館「デジタルアーカイブ」<https://dl.ndl.go.jp/pid/2955627/1/4>
- 9) 『帝都復興事業誌 建築篇・公園篇』（復興事務局, 1931年）公園篇p.43
- 10) 1924年（大正13）3月「特別都市計画委員会第四回總會議事速記録」p.401～402  
国立国会図書館デジタルアーカイブ <https://dl.ndl.go.jp/pid/1916395/1/47>

(所収「特別都市計画委員会議事速記録 第二號」復興局)

- 11) 註10) p.403
- 12) 東京朝日新聞 1924年 (大正13) 5月9日東京版  
朝日新聞クロスサーチ <https://xsearch.asahi.com/shimen/pdf/?1699609924801>
- 13) 東京朝日新聞 1924年 (大正13) 6月13日東京版  
朝日新聞クロスサーチ <https://xsearch.asahi.com/shimen/pdf/?1699610015397>
- 14) 1925年 (大正14) 5月30日「特別都市計画委員会第四回常務委員会議事速記録」  
p.54 ~ 55 国立国会図書館デジタルアーカイブ <https://dl.ndl.go.jp/pid/978485/1/33>  
(「特別都市計画委員会常務委員会速記録 第三回」復興局に所収)
- 15) 矢倉伸太郎「関東大震災後における富士瓦斯紡績株式会社と鐘淵紡績株式会社の経営について」  
奈良産業大学『産業と経済』第12巻第2号, 1997
- 16) 東京朝日新聞 1926年 (大正15) 2月23日東京版  
朝日新聞クロスサーチ <https://xsearch.asahi.com/shimen/pdf/?1699610639447>
- 17) 1926年 (大正15) 2月24日「特別都市計画委員会議事速記録 第7號」復興局  
p.15 国立国会図書館デジタルアーカイブ <https://dl.ndl.go.jp/pid/1225165/1/14>  
「特別都市計画委員会第十三回議事速記録」 p.152 ~ 153 <https://dl.ndl.go.jp/pid/1225165/1/71>
- 18) 「官報 第四〇五七號 大正十五年三月六日」  
国立国会図書館デジタルアーカイブ
- 19) 「復興局技手星野奇任免ノ件」(「任免裁可書・昭和三年・任免卷六十二」)  
国立公文書館デジタルアーカイブ <https://www.digital.archives.go.jp/item/3188012>
- 20) 「職員録 大正14年7月1日現在」内務省復興局建築部 p.40  
国立国会図書館デジタルアーカイブ <https://dl.ndl.go.jp/pid/12298485/1/124>
- 21) 「内務省庁府県職員録 大正15年4月1日現在」内務省復興局東京第四出張所 p.15  
国立国会図書館デジタルアーカイブ <https://dl.ndl.go.jp/pid/927721/1/16>
- 22) 註19) に同じ
- 23) 横浜開港資料館ホームページ「閲覧室でご覧になれる資料」のうち「星野三郎家文書」説明  
[http://www.kaikou.city.yokohama.jp/document/shokemonjo/ha\\_05.html](http://www.kaikou.city.yokohama.jp/document/shokemonjo/ha_05.html)
- 24) 「錦糸公園案内」(資料番号90006441)
- 25) 上原敬二『実験造園樹木』(養賢堂,1925年) p.75 ~ 90, p.262 ~ 264,285,371 ~ 372
- 26) 註24) に同じ
- 27) 中島卯三郎『造園の保護と管理』(国史講習会雄山閣,1928年) p.203
- 28) 東京朝日新聞 1928年 (昭和3) 6月17日東京版  
朝日新聞クロスサーチ <https://xsearch.asahi.com/shimen/pdf/?1699611614734>  
(註3 ~ 4・6 ~ 14・16 ~ 23・28 最終閲覧日 2023年11月10日)
- 29) 石井勇義『花壇庭園の知識』(新光社, 1925年) p.96 ~ 100
- 30) 相川要一『運動遊戯設備』(国史講習会雄山閣, 1928年) p.153 ~ 156
- 31) 墨田区防災マップ map2023.pdf (sumida.lg.jp) (最終閲覧日 2023年11月12日)  
錦糸公園は墨田区太平1 ~ 4丁目、横川4 ~ 5丁目、業平4 ~ 5丁目の避難場所に指定されている。

【表2】錦糸公園関係資料一覧

1. 盛土

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	93005724 錦糸公園 縮尺千二百分之一 一部盛土及園路基礎工事			[大正末~昭和初期]	31.5 *37.5	1枚
2	93006332 錦糸公園広場及園路盛土区域			大正15年6月28日	54.0 *61.2	1枚
3	93006344 錦糸公園請負工事検査復命書	太田謙吉		大正15年10月	26.7 *19.5	1枚

2. 地均

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	93006337 錦糸公園工作物基礎取除其他工事示方書	大和工業合資会社出張所 園部良治		大正15年4月10日	28.2 *20.3	1点/6枚
2	93006338 錦糸公園工作物基礎取除其他工事示方書	大和工業合資会社出張所 園部良治		大正15年4月10日	28.2 *20.3	1点/6枚
3	93006340 錦糸公園工作物基礎取除其他工事請負金額内訳書	大和工業合資会社出張所 園部良治		大正15年4月10日	28.2 *20.3	1点/6枚
4	93006341 別式・錦糸公園工作物基礎取除其他工事示方書	大和工業合資会社出張所 園部良治		大正15年4月10日	28.2 *20.3	1点/6枚
5	93006342 別紙・錦糸公園工作物基礎取除其他工事附図	大和工業合資会社出張所 園部良治		大正15年4月10日	28.2 *20.3	1点/6枚
6	93006343 錦糸公園敷地内工作物基礎詳細図			[大正末期]	43.6 *142.5	1枚
7	93005902 錦糸公園工事関係文書 根堀宅立坪当単備内訳書 他			[大正末~昭和初期]	27.8 *20.0	1綴/3綴

3. 排水

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	93005745 錦糸公園排水工事設計図 (其ノ一)			[大正末~昭和初期]	103.8*88.8	1枚
2	93005746 錦糸公園排水工事設計図 (其ノ二)		復興局東京第四出張所	[大正末~昭和初期]	70.2 *100.4	1枚
3	93005747 錦糸公園排水工事設計図 (其ノ三) 人孔詳細図 縮尺十分ノ一		復興局東京第四出張所	[大正末~昭和初期]	70.3 *101.1	1枚
4	93005748 錦糸公園排水工事設計図 (其ノ三) 人孔詳細図 縮尺十分ノ一			[大正末~昭和初期]	70.4 *28.6	1枚
5	93005749 錦糸公園排水工事設計図 (其ノ四) 人孔蓋詳細図 縮尺二分ノ一		復興局東京第四出張所	[大正末~昭和初期]	70.4 *101.7	1枚
6	93005750 錦糸公園排水工事設計図 (其ノ五) 芝地内人孔蓋詳細図 縮尺二分ノ一		復興局東京第四出張所	[大正末~昭和初期]	70.4 *100.6	1枚
7	93005751 錦糸公園排水工事設計図 (其ノ六) 雨水樹詳細図 縮尺五分ノ一		復興局東京第四出張所	[大正末~昭和初期]	70.5 *100.5	1枚
8	93005752 錦糸公園排水工事設計図 (其ノ八) 人孔蓋断面図・トラック直線曲線部			[大正末~昭和初期]	71.0 *101.1	1枚
9	93005753 錦糸公園排水設備位置図 縮尺六百分之一			[大正末~昭和初期]	64.8 *75.0	1枚
10	93005754 錦糸公園排水工事排水管伏設構造標準図 陶管			[大正末~昭和初期]	37.0 *65.3	1枚
11	93005925 錦糸公園排水工事設計図 (其ノ七)			[大正末~昭和初期]	70.6 *101	1枚

4. 給水

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	93005873 錦糸公園灌漑用水井戸穿鑿工事示方書			大正15年9月17日	28.1 *20.2	1冊
2	93005874 錦糸公園灌漑用水井戸穿鑿平面図 縮尺六百分一			[大正末~昭和初期]	49.5 *59.0	1枚
3	93005876 錦糸公園内管井仕上工事設計書 (錦糸公園内管井仕上工事設計書 他)	復興局東京第四出張所		[大正末~昭和初期]	29.7 *19.7	1枚/3枚
4	93005877 錦糸公園内管井仕上工事豫算書 (錦糸公園内管井仕上工事設計書 他)	復興局東京第四出張所		[大正末~昭和初期]	29.7 *19.7	1枚/3枚
5	93005878 圖面目録 (錦糸公園内管井仕上工事設計書 他)	復興局東京第四出張所		[大正末~昭和初期]	29.7 *19.7	1枚/3枚
6	90006624 錦糸公園プール築造工事ノ一部管井工事材料品準備ノ件伺		錦糸公園工事主任技師 太田謙吉	大正15年10月	26.4 *19.6	1綴
7	93005973 [錦糸公園] POOLの図面の下書き 第一・二案			[大正末~昭和初期]	44.5 *54.4	1枚/2枚
8	93005974 [錦糸公園] POOLの図面の下書き 第三案			[大正末~昭和初期]	30.7 *55.2	1枚/2枚
9	93005988 錦糸公園プール外二層新築工事材料数量調査			[大正末~昭和初期]	26.1 *19.4	1点
10	93006004 POOLの図面 [錦糸公園]			[大正末~昭和初期]	31.9 *55.3	1枚/2枚
11	93006005 POOLの図面 第2案 [錦糸公園]			[大正末~昭和初期]	33.5 *55.0	1枚/2枚

5. 水道

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	90006532 錦糸公園中形手洗設計図			[大正末~昭和初期]	64.2 *85.5	1枚
2	90006533 錦糸公園水飲台設計図			[大正末~昭和初期]	51.8 *84.3	1枚
3	90006537 錦糸公園小型手洗設計図			[大正末~昭和初期]	603.4*800.9	1枚
4	93006364 錦糸公園中形手洗設計図			[大正末~昭和初期]	66.0 *86.4	1枚
5	93006365 錦糸公園附属中形手洗設計図	復興局建築部技術課		[大正末~昭和初期]	55.1 *77.3	1枚
6	93006366 錦糸公園小型手洗設計図			[大正末~昭和初期]	65.5 *83.5	1枚
7	93006367 錦糸公園附属小型手洗設計図	復興局建築部技術課		[大正末~昭和初期]	54.7 *77.3	1枚
8	93006373 錦糸公園水飲台設計図			[大正末~昭和初期]	47.3 *82.0	1枚
9	93006393 錦糸公園中形手洗設計図			[大正末~昭和初期]	64.5 *85.0	1枚

6. 門・外柵・園路

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	93005900 錦糸公園工事関係文書 錦糸公園門及外柵一部築造工事予算調査書 他			[大正末~昭和初期]	27.8 *20.0	1綴/3綴
2	93005901 錦糸公園工事関係文書 錦糸公園門及外柵一部築造工事 (其二) 請負金額内訳書 他			[大正末~昭和初期]	27.8 *20.0	1綴/3綴
3	93005903 門及外柵設計調査書 錦糸公園門及外柵一部築造工事 (其二) 請負金額内訳書 他			[大正末~昭和初期]	27.6 *20.1	1綴/4綴

【資料紹介】 錦糸公園の誕生と館蔵の関係資料について (田中実穂)

4	93005904	門及外柵設計調査 錦糸公園門及外柵一部築造工事予算調査 他			[大正末～昭和初期]	27.9 *20.0	1綴/4綴
5	93005906	門及外柵設計調査 錦糸公園門及外柵一部築造工事 (其二) 示方書			[大正末～昭和初期]	28.6 *20.1	1綴/4綴
6	93005908	錦糸公園 (B号・C号) 設計詳細図 縮尺二十分之一	横山/技師 星野/設計者 寺内/製図者		[大正末～昭和初期]	36.6 *49.0	1枚
7	93005909	錦糸公園外柵設計詳細図	横山/技師 星野/設計者 寺内/製図者		[大正末～昭和初期]	53.0 *51.5	1枚
8	93005910	錦糸公園門及外柵築造工事区域平面図 縮尺1/600	横山/技師 星野/設計者 寺内/製図者		[大正末～昭和初期]	50.0 *54.0	1枚
9	93005911	錦糸公園門 (A号) 設計詳細 縮尺二十分の一	横山/技師 星野/設計者 寺内/製図者		大正末～昭和初期	47.5 *52.0	1枚
10	93005912	錦糸公園門 (A号) 照明装置詳細図 縮尺二分之一	横山/技師 星野/設計者 寺内/製図者		[大正末～昭和初期]	46.3 *64.4	1枚
11	93005913	錦糸公園門 (A号) 設計詳細図 縮尺二十分の一			[大正末～昭和初期]	44.0 *49.5	1枚
12	93005914	錦糸公園門及外柵築造工事区域平面図 縮尺六百分の一			[大正末～昭和初期]	50.4 *61.1	1枚
13	93005915	錦糸公園外柵設計詳細図 縮尺二十分の一			[大正末～昭和初期]	43.1 *60.0	1枚
14	93005916	錦糸公園正門石積設計詳細図 縮尺貳拾分の一			[大正末～昭和初期]	35.0 *59.0	1枚
15	93005917	錦糸公園外柵設計詳細図 二十分の一			[大正末～昭和初期]	64.5 *53.0	1枚
16	93005997	錦糸公園園路設定計算表			[大正末～昭和初期]	33.5 *21.2	1枚
17	93006330	錦糸公園広場及園路第一期盛土工事			大正15年6月28日	35.6 *20.4	1冊
18	93006333	錦糸公園々路基礎築造標準図 式間道路・四間道路	復興局東京第四出張所 工事課		[大正末～昭和初期]	34.8 *67.4	1枚
19	93006334	錦糸公園 (観音工区設計書附圖)			[大正末～昭和初期]	63.4 *52.6	1枚
20	93006335	錦糸公園 (観音工区設計書附圖)			大正15年3月2日	64.4 *54.5	1枚
21	93006336	錦糸公園運動場及園路仕上工事標準図			[大正末～昭和初期]	54.1 *83.1	1枚

7. 植栽

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	90006580	錦糸公園内一部樹木植栽工事設計書		[大正末～昭和初期]	27.8 *18.6	1綴
2	90006591	錦糸公園植樹及び植芝 その他工事伺		昭和3年3月	28.2 *20.0	1括 (6枚)
3	93005721	錦糸公園 (害虫駆除樹木調査)		大正15年8月11日	50.7 *59.5	1枚

8. 花壇

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	90006581	錦糸公園造営敷地ノ一部野芝植栽及植地客土工事設計書 縮尺六百分の一		[大正末～昭和初期]	58.0 *48.0	1綴
2	90006586	錦糸公園造営敷地ノ一部花壇築造準備工事竣工調査		[大正末～昭和初期]	27.7 *20.0	1綴
3	93005726	錦糸公園植樹及植芝其他其一工事竣工図		[大正末～昭和初期]	35.1 *36.5	1枚

9. コロネード

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	93005796	錦糸公園コロネード 図面		[大正末～昭和初期]	53.3 *75.2	1枚
2	93005797	錦糸公園コロネード柱頭原寸図		[大正末～昭和初期]	129.2*106.8	1枚
3	93005798	錦糸公園コロネード及附属設備新設工事示方書		[大正末～昭和初期]	28.2 *20.2	1冊
4	93005799	錦糸公園コロネード及附属設備工事竣工図		[大正末～昭和初期]	80.4 *101.4	1枚
5	93005800	錦糸公園コロネード及附属設備新設工事竣工図		[大正末～昭和初期]	61.2 *63.2	1枚
6	93005801	錦糸公園コロネード及附属設備新設工事竣工図 (断面)		[大正末～昭和初期]	71.6 *96.8	1枚
7	93005802	錦糸公園コロネード及附属設備新設工事竣工図		[大正末～昭和初期]	67.4 *47.9	1枚
8	93005803	錦糸公園コロネード詳細		[大正末～昭和初期]	69.0 *102.3	1枚
9	93005804	錦糸公園コロネード腰掛詳細図		[大正末～昭和初期]	71.5 *102.4	1枚
10	93005805	錦糸公園コロネード及附属設備		[大正末～昭和初期]	72.8 *55.9	1枚
11	93005806	錦糸公園コロネード及附属設備 図面		[大正末～昭和初期]	68.2 *98.4	1枚
12	93005811	錦糸公園コロネード及附属設備新設工事支給品調査 他		[大正末～昭和初期]	28.1 *20.3	1冊
13	93006354	図面 (錦糸公園)		[大正末～昭和初期]	44.5 *57.9	1枚

10. 池泉・噴水

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	90006535	錦糸公園噴水器		[大正末～昭和初期]	54.4 *53.6	1枚
2	90006536	錦糸公園噴水器		不明	54.4 *59.6	1枚
3	90006543	錦糸公園噴水器新設工事 工事伺		[大正末～昭和初期]	28.1 *20.4	1括 (12枚)
4	90006544	錦糸公園噴水器新設工事請負金額内訳書		[大正末～昭和初期]	27.5 *20.0	1括 (10枚)
5	90006545	錦糸公園噴水器新設工事支給品調査		[大正末～昭和初期]	27.5 *19.4	1括 (8枚)
6	93006372	錦糸公園噴水器図面		[大正末～昭和初期]	57.2 *62.1	1枚

11. 児童遊技場及運動場

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	93005931	錦糸公園児童運動場設備工事 NO.2 砂場平面図・砂場断面図		[大正末～昭和初期]	50.1 *63.4	1枚
2	93005932	運動場周囲大谷石積工設計図・砂場周囲大谷石積設計図 縮尺十分之一 角力場設計図 縮尺五十分之一		[大正末～昭和初期]	50.6 *55.2	1枚
3	93005934	錦糸公園児童運動場設備工事NO.2 砂場平面図・砂場断面図		[大正末～昭和初期]	55.2 *66.4	1枚
4	93005945	錦糸公園児童運動場 (第一号)		[大正末～昭和初期]	47.2 *55.6	1枚
5	93005946	錦糸公園児童運動場 (第二号)		[大正末～昭和初期]	51.7 *54.8	1枚

12. 藤棚 (共同便所含む)

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	93006406 錦糸公園藤棚 (B) 設計図 其ノ一 縮尺二十分之一			[大正末～昭和初期]	45.9 *75.0	1点
2	90006521 錦糸公園共同便所並藤棚新設工事メモ		復興局	[大正末～昭和初期]	25.0 *17.0	1枚
3	90006523 錦糸公園共同便所並藤棚新設工事仕様書		復興局	[大正末～昭和初期]	27.5 *20.0	1括 (4枚)
4	93006397 錦糸公園共同便所並藤棚新設工事請負金額内訳書			[大正末～昭和初期]	28.0 *20.3	1部

13. 共同便所

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	90006507 錦糸公園便所休憩所新築工事予算調書		復興局	[大正末～昭和初]	26.0 *19.0	1括 (22枚)
2	90006511 錦糸公園便所新築工事設計書		復興局建築部	昭和2年4月	26.0 *20.0	1部
3	90006524 錦糸公園便所新築工事内訳			[大正末～昭和初期]	19.0 *26.0	1括 (33枚)
4	90006525 (錦糸公園便所 原因 No.1)		復興局建築部技術課	[大正末～昭和初期]	73.3 *55.0	1枚
5	90006527 (錦糸公園便所青ヤキ No.1)		復興局建築部技術課	[大正末～昭和初期]	72.0 *51.0	1括 (3枚)
6	90006529 (錦糸公園便所設計図)		復興局建築部技術課	不明	51.4 *73.0	1枚
7	93006394 (錦糸公園 便所設計図)	復興局建築部技術課		[大正末～昭和初期]	51.5 *72.5	1枚
8	93006395 錦糸公園便所設計図			[大正末～昭和初期]	49.8 *78.7	1枚

15. ベンチ

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	90006542 錦糸公園ベンチ新設工事予算調書			[大正末～昭和初期]	27.4 *19.7	1括 (9枚)
2	93006352 錦糸公園児童用ベンチ製作設計図 詳細現寸図・背面図・平面図			[大正末～昭和初期]	104.7*77.4	1枚
3	93006353 ベンチ正面図・側面図 (錦糸公園)			[大正末～昭和初期]	100*74.3	1枚
4	93006358 錦糸公園使用鋳物製ベンチ設計書	復興局建築部技術課		昭和2年4月	25.8 *19.1	1枚/3枚
5	93006359 錦糸公園使用鋳物製ベンチ設計書	復興局建築部技術課		昭和2年4月	25.8 *19.1	1枚/3枚
6	93006360 錦糸公園使用鋳物製ベンチ設計書	復興局建築部技術課		昭和2年4月	26.7 *19.0	1枚/3枚
7	93006363 錦糸公園附属ベンチ付き手洗設計図	復興局建築部技術課		[大正末～昭和初期]	54.6 *77.0	1枚

a. 図面 (確定前)

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	93005719 錦糸公園 縮尺六百分ノ一			大正15年6月4日	48.8 *58.7	1枚/2枚
2	93005720 錦糸公園 縮尺六百分ノ一			大正15年6月4日	53.0 *59.5	1枚/2枚
3	93005869 錦糸公園			[大正末～昭和初期]	67.4 *55.6	1枚
4	93005972 [錦糸公園] 平面図 (彩色)			[大正末～昭和初期]	38.2 *39.5	1枚
5	93005978 [錦糸公園] 全体の図面			[大正末～昭和初期]	31.4 *54.2	1枚
6	93005979 [錦糸公園] 全体図面の下書き			[大正末～昭和初期]	60.9 *84.9	1枚
7	93005980 [錦糸公園] 図面の下書き			[大正末～昭和初期]	39.6 *81.1	1枚
8	93005981 [錦糸公園] 平面図 (彩色)			[大正末～昭和初期]	78.0 *132.1	1枚
9	93005982 [錦糸公園] 平面図 デッサン			[大正末～昭和初期]	24.8 *16.7	1枚/2枚
10	93005983 [錦糸公園] 平面図 デッサン			大正末～昭和初期	24.8 *16.7	1枚/2枚
11	93005985 [錦糸公園 下図]			[大正末～昭和初期]	55.4 *67.3	1枚
12	93005986 [錦糸公園]			[大正末～昭和初期]	55.3 *75.5	1枚
13	93005987 [錦糸公園]			[大正末～昭和初期]	79.4 *100.1	1枚
14	93005989 [錦糸公園図面]			[大正末～昭和初期]	39.0 *40.8	1枚
15	93005990 [錦糸公園 図面]			[大正末～昭和初期]	55.0 *43.0	1枚
16	93005991 [錦糸公園 図面]			[大正末～昭和初期]	39.0 *46.7	1枚
17	93005992 [錦糸公園予想図]			[大正末～昭和初期]	71.8 *80.0	1枚
18	93005993 [錦糸公園予想図]			[大正末～昭和初期]	48.2 *78.3	1枚
19	93005994 [錦糸公園予想図]			[大正末～昭和初期]	39.0 *41.6	1枚
20	93005995 [錦糸公園予想図]			[大正末～昭和初期]	38.8 *51.2	1枚
21	93005998 錦糸公園の全体図			[大正末～昭和初期]	66.7 *54.3	1枚
22	93005999 [錦糸公園図面]			[大正末～昭和初期]	39.3 *70.5	1枚
23	93006000 [錦糸公園予想図]			[大正末～昭和初期]	39.1 *49.8	1枚
24	93006001 [錦糸公園予想図]			[大正末～昭和初期]	127.7*78.1	1枚
25	93006002 [錦糸公園図面]			[大正末～昭和初期]	44.5 *38.5	1枚
26	93006003 錦糸公園カーブセッティング			[大正末～昭和初期]	56.0 *77.5	1枚
27	93006007 [錦糸公園図面]			[大正末～昭和初期]	44.7 *54.8	1枚
28	93006009 [錦糸公園図面]			[大正末～昭和初期]	39.8 *41.8	1枚
29	93006011 [錦糸公園設計図]			[大正末～昭和初期]	55.4 *76.6	1枚
30	93006015 [錦糸公園 図面]			[大正末～昭和初期]	39.0 *48.0	1枚/2枚
31	93006016 [錦糸公園 図面]			[大正末～昭和初期]	38.2 *38.0	1枚/2枚
32	93006018 [錦糸公園 図面]			[大正末～昭和初期]	80.0 *61.2	1枚

b. 図面など (確定後)

資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	90006424 錦糸公園平面図			不明	26.9*38.7	1点
2	90006593 錦糸公園地形仕上工事竣工調書及び図面			昭和初期	35.0 *36.8	1綴
3	90012184 錦糸公園平面図 縮尺六百分ノ一			不明	55.2 *64.3	1点
4	93005718 錦糸公園 縮尺六百分ノ一			[大正末～昭和初期]		
5	93005722 錦糸公園 縮尺六百分ノ一			大正末～昭和初期		

【資料紹介】 錦糸公園の誕生と館蔵の関係資料について（田中実穂）

6	93005725	錦糸公園 縮尺千二百分ノ一			[大正末～昭和初期]		
7	93005870	錦糸公園鳥瞰図			[大正末～昭和初期]		

c. 図面・模型（その他）

	資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	93005868	錦糸公園敷地実測平面図 縮尺千二百分ノ一			[大正末～昭和初期]	41.0 *59.4	1枚
2	93005867	錦糸公園			[大正末～昭和初期]	47.0 *64.2	1枚
3	93005884	錦糸公園敷地現況平面図			[大正末～昭和初期]	62.3 *61.5	1枚
4	93005885	錦糸公園敷地実測平面図			[大正末～昭和初期]	77.5 *38.0	1枚
5	93006331	錦糸公園敷地実測平面図 縮尺千二百分ノ一			大正15年6月28日	41.1 *61.2	1枚
6	93650211	錦糸公園敷地全景の写真			大正14年9月16日	20.5 *49.8	1枚
7	93005871	(錦糸公園変更設計)			[大正末～昭和初期]	64.9 *53.6	1枚
8	93006006	試掘断面 其巻 [錦糸公園]			[大正末～昭和初期]	55.0 *43.5	1枚
9	93006013	[錦糸公園 図面]			[大正末～昭和初期]	28.5 *53.5	1枚
10	93006014	[錦糸公園 図面]			[大正末～昭和初期]	34.5 *55.0	1枚
11	93005984	[錦糸公園部分下図]			[大正末～昭和初期]	31.3 *54.8	1枚
12	93006008	[錦糸公園図面]			[大正末～昭和初期]	38.5 *39.3	1枚
13	93006017	[錦糸公園 図面]			[大正末～昭和初期]	44.6 *55.8	1枚
14	93650183	[錦糸公園模型]			[大正末～昭和初期]	11.2 *15.4	1枚
15	90006568	錦糸公園関係調査			[大正末～昭和初期]	20.0 *21.0	1綴

d. 仮設柵の設置

	資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	93005886	錦糸公園敷地上部鉄線柵仮設工事設計圖 附圖 縮尺十分ノ一			[大正末～昭和初期]	27.0 *43.7	1枚
2	93005887	錦糸公園敷地上部鉄線柵仮設工事設計圖 附圖一 縮尺十分ノ一			[大正末～昭和初期]	31.9 *40.9	1枚
3	93005888	錦糸公園敷地上部鉄線柵仮設工事設計圖 附圖二 縮尺1/10			[大正末～昭和初期]	22.0 *34.3	1枚

e. 開園後

	資料番号	資料名	作成者	発行所	時代年代	寸法	数量
1	88003621	筆立（錦糸公園開園記念）				6.0*8.5*9.0	1台
2	90006466	錦糸公園（絵葉書）		[東京市復興事務局]	昭和6年	8.5 *13.5	1枚
3	90006441	錦糸公園案内	[東京市]		昭和3年以降	23.0 *31.1	1部
4	90006471	紙袋（昭和三年七月 錦糸公園開園記念帖）		[錦糸公園開園祝賀会]	昭和3年	33.5 *20.4	1袋
5	90006473	昭和三年七月十八日 錦糸公園開園式報告書		錦糸公園開園祝賀会	昭和3年	25.8 *18.9	1冊
6	90006474	錦糸公園開園祝賀会収支決算報告書		錦糸公園開園祝賀会	昭和4年	39.7 *54.1	1枚
7	90006475	しおり 錦糸公園全景		[錦糸公園開園祝賀会]	昭和3年以降	4.0 *14.7	1枚
8	90006550	錦糸公園開園記念帳	錦糸公園開演祝賀会		昭和3年7月	19.3 *27.7	1冊
9	90006558	錦糸公園入園者調査表		錦糸公園詰所	昭和3年8月	27.6 *19.9	1冊
10	90204866	錦糸公園案内（昭和3年7月開園）	東京市役所	東京市役所	不明	23.7 *15.9	1部
11	93005735	錦糸公園電灯及水道其他料金調書			[大正末～昭和初期]	27.4 *39.6	1枚
12	93005736	錦糸公園電灯□也料金調書 噴水量（午前八時～后十時）八月十九日調			[大正末～昭和初期]	26.2 *19.2	1枚/4枚
13	93005737	錦糸公園電灯□也料金調書 便所手洗水道料 八月十九日調（七月十八日より八月十九日迄一ヶ月）			[大正末～昭和初期]	26.2 *19.2	1枚/4枚
14	93005738	錦糸公園電灯□也料金調書			[大正末～昭和初期]	26.2 *19.2	1枚/4枚
15	93005739	錦糸公園電灯□也料金調書 水道料金			[大正末～昭和初期]	26.2 *19.2	1枚/4枚
16	94360536	錦糸公園野球場（写真）			昭和時代	21.0 *27.0	1枚
17	94360537	錦糸公園庭球場（写真）			昭和時代	21.0 *27.0	1枚
18	93650182	錦糸公園（写真）			昭和5年11月4日	11.5 *15.3	1枚

